

JSS 関西 第5回地方会 「超音波講演会」のお知らせ

主催 日本超音波検査学会

JSS 関西第5回地方会を下記のとおり和歌山市で開催いたします。

心エコー法は現在、多彩な手法を有し、心機能を評価するうえで有用です。心機能とは、心室の収縮・拡張および心房機能との相互関連からなる一連の機能であり、心エコー法により得られる各指標のもつ意味を知ることが、病態を理解する上で重要です。今回は関西各府県から選抜した技師をお招きし、「心機能をどう評価するか」というテーマでの講演会を企画いたしました。

第I部で各施設から話題提供をいただいた後、第II部では講師、司会、フロアー参加者を交えて心機能評価について徹底討論を行いたいと思います。

ぜひ多くの皆様にご参加いただき、日常検査の向上に役立てていただきますようご案内申し上げます。

記

テーマ：「心機能をどう評価するか」

日 時：2006年11月12日（日）13時00分～16時30分

会 場：県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛

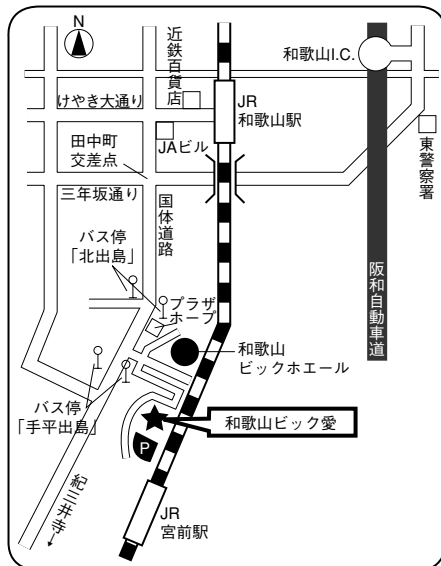
参加費：正会員：1,000円 非会員：3,000円

ご注意：*参加の事前登録等はいりませんのでご了解ください。

*施設の収容人数の関係上、人数制限を行う場合がありますので、ご了承ください。

*会場内のビデオ撮影は禁止といたします。

*会場内では食事禁止といたします。



県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛

和歌山市手平2-1-2

- JR 和歌山駅下車
(JR 大阪駅から快速利用で約90分)
【徒歩】所要：約20分
【バス】所要：約5分
①番線のりば（中央改札→西口のりば）
・新手平經由海南藤白浜行（40・41系統）
・マリーナシティ行（42系統）
・医大病院行（50・52系統）
いずれも「北出島」停留所下車すぐ
- 南海本線・和歌山市駅下車
(南海なんば駅から特急利用で約60分)
【バス】所要：約20分
⑤番線のりば
・ブラクリ丁・和歌山駅經由海南藤白浜行（40・41系統）
・マリーナシティ行（42系統）
・医大病院行（50・53系統）
いずれも「北出島」停留所下車すぐ

有料駐車場（50分100円）

連絡先：〒565-0873 大阪府吹田市藤白台5-7-1 国立循環器病センター生理機能検査部 住田 善之
TEL: 06-6833-5012 E-mail: sumita@jss.org（できるだけE-mailをお願いします）

JSS関西 第5回地方会 プログラム

11月12日(日)

時 間	内 容
12:30~13:00	受 付
13:00~15:00	<p>第Ⅰ部「心機能をどう評価するか」</p> <p>講 師：金子 裕 (津市民病院臨床検査部・滋賀県) 元田 博子 (京都医療センター研究検査科・京都府) 森嶋 良一 (奈良県立医科大学附属病院中央臨床検査部・奈良県) 藤田 晋一 (大阪労災病院心臓超音波室・大阪府) 浅岡 伸光 (宝塚市立病院中央検査室・兵庫県) 竹中 正人 (社会保険紀南病院中央臨床検査部・和歌山県)</p> <p>司 会：高橋 秀一 (天理よろづ相談所病院臨床病理部)</p> <p>特別発言 住田 善之 (国立循環器病センター生理機能検査部)</p>
15:00~15:15	休 憩
15:15~16:30	<p>第Ⅱ部 討論会</p> <p>講師，司会，フロアー参加者を交えて討論会を行います。</p>

本地方会のねらい

近年，心エコー法による心機能評価法は非常に多岐にわたり大きく発展している。その最終目的はいかに患者様の心臓の状態を正しく判定し治療や経過観察に役立たせるかという過言ではない。

左室径や左室容量の変化により心機能を評価する方法としては，Mモード法を用いた左室径の収縮期短縮率に始まり，断層エコーを用いた左室容量からの駆出率の計測，さらには3次元エコー法を用いた左室容量の算出も可能となった。また，収縮能に加えて拡張能も重要であり，経僧帽弁血流速度波形や肺静脈血流速度波形による評価のみならず組織ドブラ法の活用でより正確な拡張能評価が可能となった。さらに，収縮能低下は拡張能低下を伴うため収縮能と拡張能を総合した心機能評価 (Tei index) も用いられている。潜在する病変に対しては，負荷を加えて評価する方法 (運動負荷，薬物負荷) も心機能評価の一つにあげられる。

新しい話題としては，局所機能の評価であろう。断層エコーによる局所壁運動の評価がもっとも基本であるが，組織ドブラ法や局所のストレインおよびストレインレートが客観的な指標として臨床応用されている。また，局所壁運動の遅れ (dyssynchrony) を軽減させる心臓再同期療法に dyssynchrony の評価は必須であり，組織ドブラ法やストレインが用いられている。

このように心機能評価法は大きく発展しかつ複雑となってきた。本企画では，6名の演者から成書に書かれている内容の解説ではなく，各施設で実際に行っている心機能評価法の現状と問題点について話題提供を頂き，フロアー参加者を交えて今後我々が目指すべき方向を考える機会としたい。

司会：高橋 秀一 記